

ほんごう ほんしょう

## 本郷の半鐘

指定種別：市指定文化財

指 定 日：平成 24 年 11 月 28 日

所 在 地：釜石市唐丹町字大曾根

(本郷地区コミュニティ消防センター)

制 作 年：享保 18(1733)年

寸 法：総高 64 cm 直径 37 cm 厚さ 4 cm

銘 文：下記参照



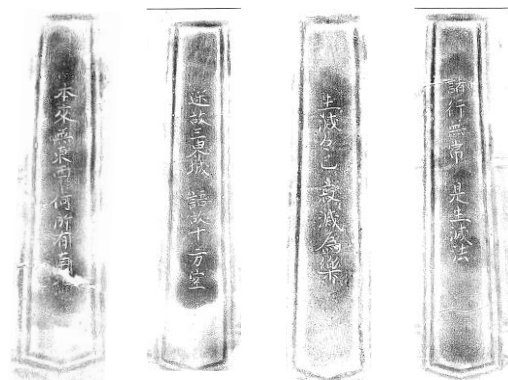
本郷の半鐘は、唐丹町本郷に所在し、享保 18(1733)年に奉納されたもので、釜石で最も古い時期に属する梵鐘のひとつです。

飢饉の苦難を祓うために地元の念仏講信者が奉納したといわれ、中帯に献納者の銘が陰刻されています。

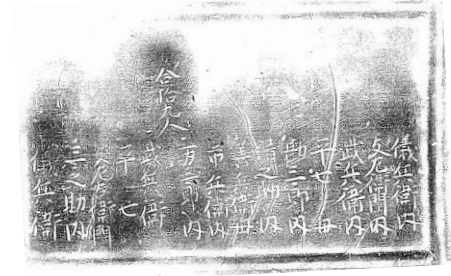
青銅製で、導師宗心や取次の三之助をはじめ、念仏講信者名が刻まれています。

長い年月の中で、火災や津波、本郷地区の庵寺「福寿庵」で半鐘として使用されていたため、窪みができたり裂けている部分が見られます。

明治 29 年の三陸大海嘯や、昭和 8 年の昭和三陸大津波、戦時下の徴用などを乗り越えてきた半鐘で、東日本大震災では一度流失しましたが、地元の住民の発見により、現在もその形を残しています。



【半鐘縦帯拓本】



【半鐘中帶拓本】